

shindaiwa®

取扱説明書

携帯用発電機

EGR3500T


EGR4100T

EGR5000TD-E

EGR5500TD-E

空冷4サイクル・ガソリンエンジン

目次	頁
1. 安全上の注意	2
2. 仕様	5
3. 用途	5
4. 各部の名称	6
5. 付属品	6
6. 装備	7
7. 運転方法	8
7-1. 始業前点検	8
7-2. 始動	11
7-3. 停止	14
8. 発電機の操作	14
8-1. 操作	14
8-2. 使用できる機器の容量	15
9. 点検・整備	16
10. 長期保管	18
11. 故障時の対応	20

 注意：安全のため、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。また、いつでもご覧いただけるよう、大切に保管してください。

1F4D230190

はじめに

このたびは、新ダイワの携帯用発電機をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

- この取扱説明書は、本機を安全に正しく使用していただくために作成しています。本機の取り扱いを誤りますと事故や故障の原因となりますので、ご使用前には必ずこの取扱説明書をお読みください。
- 本機の取扱いは、この取扱説明書の内容を理解し、安全な取り扱いができる人が行ってください。また、安全作業上で影響が出るような病気・薬服用・体調不良のときは、本機の使用を控えてください。
- 本機を使用した作業や本機の取扱いにおいては、関連する法律（労働安全衛生法、電気事業法、電気工事士法、消防法、騒音規制法等）およびその法律に基づく規則を遵守してください。
- 本機を貸し出す時は、必ず取扱説明書を添付し、よく読んでから使用するよう指導してください。
- この取扱説明書は、いつでもご覧いただけるよう、所定の場所に大切に保管してください。紛失・汚損・破損したときは、お求めの販売店にご注文ください。
- ご不明な点、お気づきの点がありましたら、お求めの販売店にご相談ください。また、本機についてのお問合せ時は、モデル名と製造番号をお知らせください。
- 本機を破棄されるときは、産業廃棄物として関連法規に基づいた処理を行ってください。処理にお困りのときは、お求めの販売店にご相談ください。

■この取扱説明書では、注意事項のランクを下記のように区分しています。

- | |
|--|
| <p>◆ 危険：取り扱いを誤ると、死亡または重傷を負う可能性がある場合。</p> <p>▲ 注意：取り扱いを誤ると、中程度の傷害や軽傷を負う可能性がある場合
および物的損害が発生する可能性がある場合。</p> <p><注意>：本機の保護と、本機の性能を十分に発揮させるための注意事項。</p> |
|--|

- 『▲ **注意**』に記載した事項でも、状況によっては重大な事故に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

1. 安全上の注意

⚠ 危険：排気ガス中毒

- エンジンの排気ガス中には、人体に有害な成分が含まれていますので、室内・トンネルなどの換気の悪い所では運転しないでください。

⚠ 危険：感電

- 運転中、本機や体がぬれているときは、本機に触れないでください。
- 出力コンセントや発電機の開口部に、ピンや針金などの金属物を入れないでください。
- 点検・整備を行うときは、必ずエンジンを停止してください。

⚠ 注意：排気ガス中毒

- 排気を通行人や民家などに向けないでください。

⚠ 注意：感電

- 本機に水をかけたり、雨中での使用はしないでください。
- 運転中は、スパークプラグ・プラグキャップ・高圧線には触れないでください。

⚠ 注意：目や皮膚の障害


- バッテリー液には希硫酸が含まれていますので、目・皮膚・衣類などに付着させないでください。
付着したときはすぐに多量の水で洗い流し、特に目に入ったときは必ず医師の診断を受けてください。

⚠ 注意：爆発

- バッテリーの液面高さが下限レベル以下では使用や充電をしないでください。
- バッテリーは引火性ガスを発生しますので、付近にスパークさせたり火気に近づけないでください。

 注意：火災

- 本機は、燃料としてガソリンを使用しています。燃料の点検や給油・
抜き取り、燃料ストレーナーの清掃など、燃料を扱うときは必ずエン
ジンを停止し、絶対に火気を近づけないでください。また、エンジ
ンが冷えてから行ってください。
- 燃料をこぼしたときは、必ずふき取ってください。
また、燃料もれがある場合は、絶対に使用せず、必ず修理してくだ
さい。
- マフラーや排気ガスなどは高温となるため、引火性のある物（燃料・
ガス・塗料など）や燃えやすい物は、本機に近づけないでください。
- 本機は壁などの障害物から1 m以上離し、水平な場所で運転してく
ださい。
- 保管用カバーなどをかけるときは、本機が冷えてから行ってくださ
い。
- 屋内配線に接続しないでください。（法令でも禁止されています）

 注意：やけど

- 運転中や停止直後は、エンジンやマフラーが高温になっていますの
で、触れないでください。
- エンジンオイルの点検・交換を行うときは、必ずエンジンを停止し、
エンジンが冷えてから行ってください。運転中にオイルゲージを開
けると、高温のオイルが吹き出します。

 注意：けが

- 本機が移動しないよう、水平で安定した場所に設置してください。
- エンジンを始動するときは、必ず使用機器のスイッチを切り、ブレ
ーカーを『OFF』し、キャスターをロックしてください。
- 回転部に棒・針金・ひもなどを入れないでください。
- 回転部に巻き込まれる恐れがありますので、長い髪は束ね、スカー
フやアクセサリ類のぶらつく物は身に付けしないでください。
- 運転中に移動しないでください。
- 点検・整備を行うときは、必ずエンジンを停止してください。
- 改造したり、部品をはずしたままで運転しないでください。

■警告ラベル貼付位置

警告ラベルが見えにくくなったり破損したときは、新しいラベルを指定場所に貼りかえてください。ラベルの注文は（ ）内の番号で注文してください。

①排気ガス中毒（品番19402-00097）

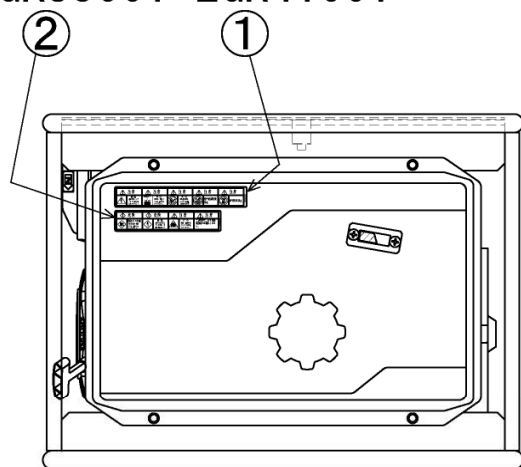
②感電（品番19402-00096）

③やけど（品番19402-00099）

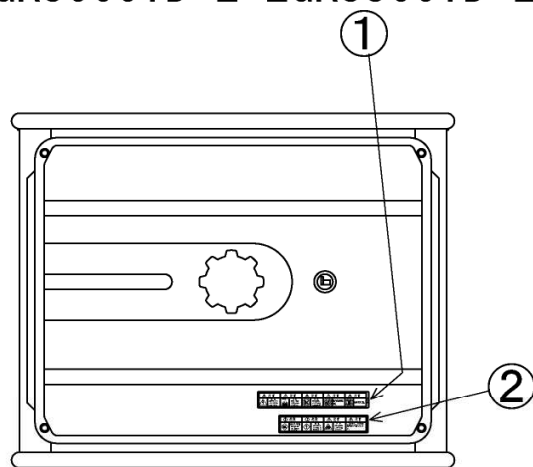
④高電圧（品番19402-00139）

※警告ラベル③、④は、全型式同じ位置に貼付しています。

EGR3500T EGR4100T



EGR5000TD-E EGR5500TD-E



2. 仕様

モデル		EGR3500T	EGR4100T	EGR5000TD-E	EGR5500TD-E
発電機	発電方式	回転界磁型同期発電方式			
	励磁方式	自己励磁			
	電圧調整方式	CT方式			
	周波数(Hz)	50	60	50	60
	相	三相 / 単相			
	定格出力(kVA)	3.5/1.16x2	4.1/1.35x2	5.0/1.65x2	5.5/1.72x2
	定格電圧(V)	200 / 115			
	定格電流(A)	10.1/10.1x2	11.8/11.8x2	14.4/14.4x2	15.9/15.0x2
	定格回転数(min ⁻¹)	3000	3600	3000	3600
	力率	0.8 / 1.0			
	定格	連続			
	過電流保護	ノーヒューズブレーカー			
エンジン	名称	ロビンEX270D		ロビンEX400DS	
	型式	空冷4サイクルOHC式ガソリンエンジン		空冷4サイクルOHC式ガソリンエンジン	
	連続定格出力(kW/min ⁻¹ {PS/rpm})	4.4/3000{6.0/3000}	5.1/3600{7.0/3600}	6.3/3000{8.5/3000}	7.0/3600{9.5/3600}
	排気量(ml)	265		404	
	燃料の種類	ガソリン			
	潤滑油容量(L)	1.0		1.2	
装備	オイルセンサー	有			
	スロースタウン	無			
燃料タンク規定容量(L)		12.8(赤レベル)		22.0(赤レベル)	
連続定格運転時間(h)		約 5.5	約 4.5	約 6.5	約 6.0
外形寸法 L × W × H(mm)		650 × 490 × 735		710 × 580 × 725	
乾燥質量(kg)		75		113	
装備質量(kg)		89		136	

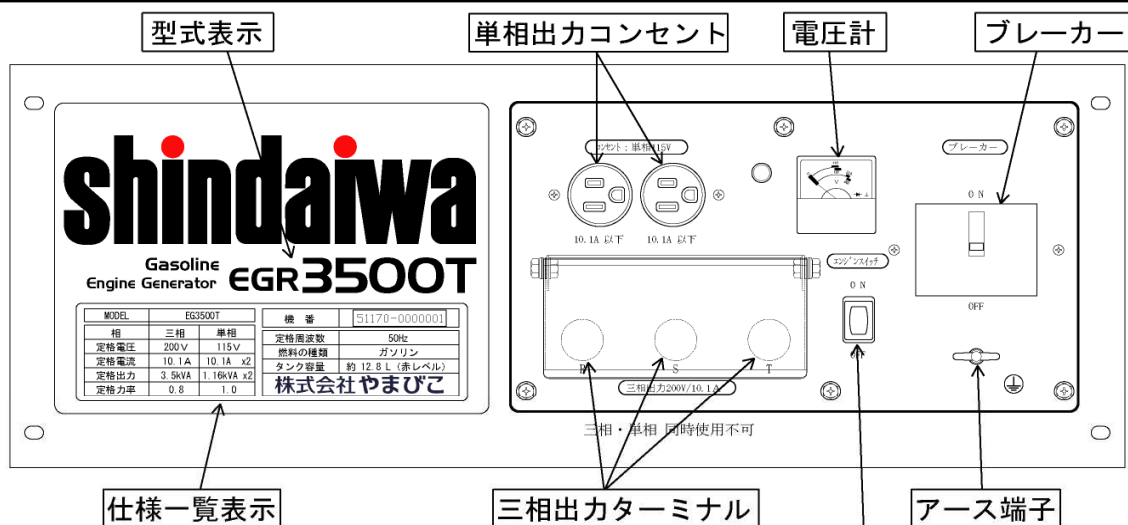
3. 用途

- 電動工具の電源
- 照明機器の電源
- 家電機器の電源

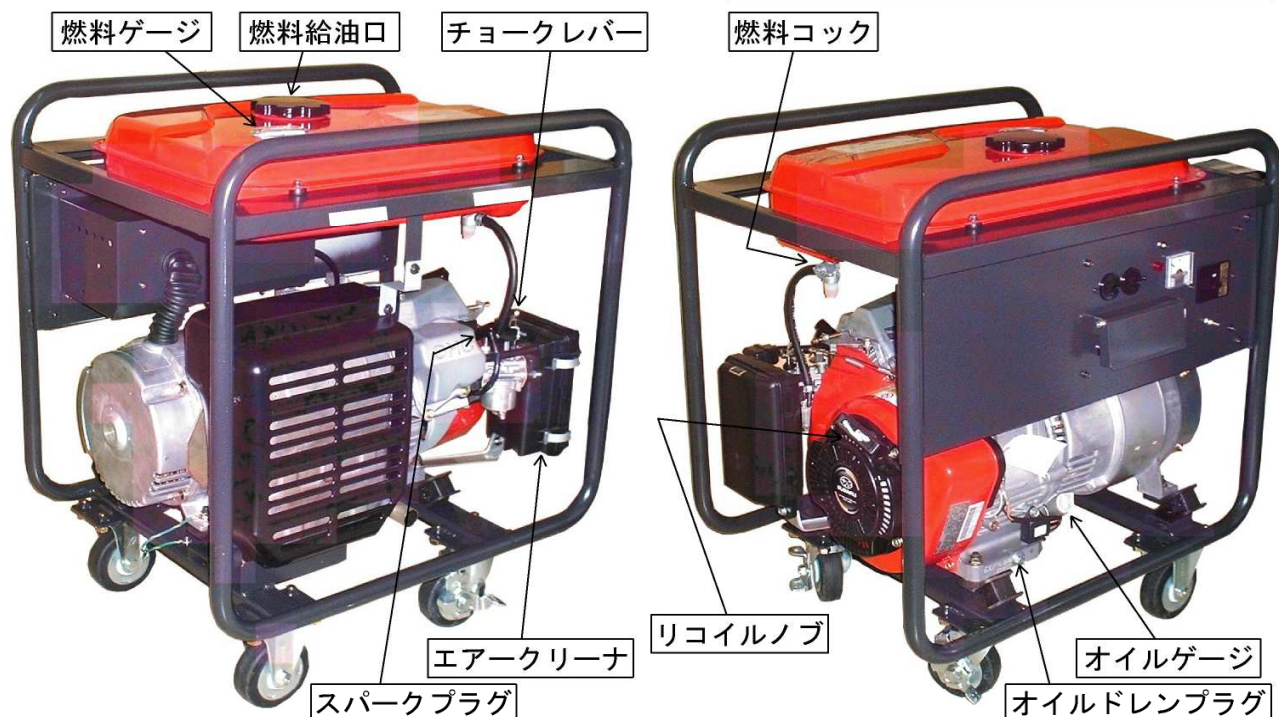
⚠ 注意：物的損害

- 上記の用途以外には使用しないでください。
コンピューター・マイコン搭載機器・精密機器の電源として
使用しないでください。使用機器が故障することがあります。

4. 各部の名称



エンジンスイッチ
 EGR3500T, 4100T → ロッカースイッチ
 EGR5000TD-E, 5500TD-E → キースイッチ




5. 付属品

- 工具(プラグレンチ)
- 取扱説明書(エンジン・発電機)
- フェーズ(10A 2本) (EGR5000TD-E, 5500TD-Eのみ)
- エンジンキー(2個) (EGR5000TD-E, 5500TD-Eのみ)
- 保証書

6. 装備

(1) オイルセンサー

 注意：やけど

- エンジンオイルの点検・交換を行うときは、必ずエンジンを停止し、エンジンが冷えてから行ってください。運転中にオイルゲージを開けると、高温のオイルが吹き出します。


オイルセンサーは、エンジンオイルが少なくなると自動的にエンジンを停止させ、エンジンの焼き付きを防止する装置です。

エンジンが自動停止したときは、『エンジンオイルの点検（P8）』の項を参照してエンジンオイルの量を点検し、エンジンオイルを上限レベルまで給油してください。

<注意>

- オイルセンサーは、オイルの劣化を検知することはできません。エンジンオイルは、『エンジンオイルの交換（P17）』の項を参照して定期的に交換してください。

(2) ブレーカー

 注意：けが

- ブレーカー作動後、再度『ON』にするときは、必ず使用機器のスイッチを切ってください。

電流を取りすぎると、ブレーカーが作動し『OFF』になります。

運転中に使用機器が停止した場合は、ブレーカーを点検してください。

ブレーカーが『OFF』になっているときは、つぎの操作をしてください。

① 使用機器のスイッチをすべて切ります。

② ブレーカーを『ON』にします。

<注意>

- 『使用できる機器の容量（P15）』の項を参照し、電流を取りすぎないように注意して使用してください。

(3) アース端子

本機をアース（接地）する端子です。

使用機器をアースしたときは、本機も必ずアースしてください。

7. 運転方法

7-1. 始業前点検

⚠ 注意：火災・やけど・けが

- 点検時は必ずエンジンを停止し、絶対に火気を近づけないでください。また、エンジンが冷えてから行ってください。

(1) エンジンオイルの点検

オイル量の点検は、本機を水平にし、オイルゲージを給油口に差し込んだ状態で（ねじ込まないで）確認してください。

始業前には、オイルを上限レベルまで給油しておいてください。

オイル容量：EGR3500T, 4100T → 約1.0L（全量）

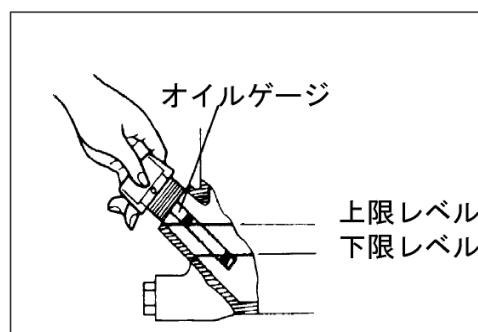
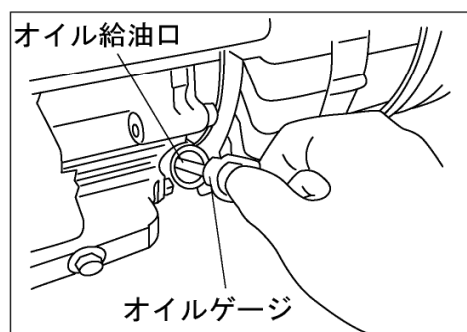
EGR5000TD-E, 5500TD-E → 約1.2L（全量）

オイル有効量：EGR3500T, 4100T → 約0.6L（下限から上限レベルまで）

EGR5000TD-E, 5500TD-E → 約0.7L（下限から上限レベルまで）

<注意>

- 本機が傾いた状態では、オイル量を正確に確認することができません。
- オイル量が下限レベル付近で使用すると、本機の傾きによってはオイルセンサーが作動せず、エンジンが焼き付くことがあります。



■エンジンオイルの選定

オイルは外気温度に応じて適正な粘度（表を参照）のガソリンエンジン用オイルを使用してください。

<注意>

- オイルの品質は、SE級以上のものを使用してください。
- マルチグレードを使用した場合、外気温度が高いとオイルの消費量が増えますので、オイルの残量に注意してください。

オイル粘度の選定基準

シングル グレード	10W					
	20W					
	#20					
	#30					
	#40					
マルチ グレード	10W-30					
外気温度	-10	0	10	20	30	40°C

(2) 燃料の点検

⚠ 注意：火災

- 燃料をこぼしたときは、必ずふき取ってください。

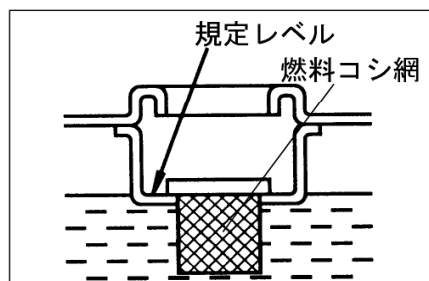
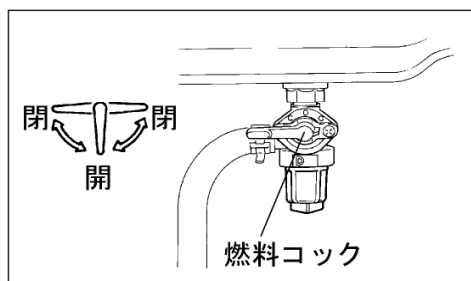
燃料が規定レベル内に十分入っているか点検し、不足しているときは給油してください。

<注意>

- 2ヶ月以上使用しなかった燃料は、新しい燃料に入れ換えてください。
- 燃料は自動車用レギュラーガソリンを使用してください。
- 給油時は燃料コックを閉じ、給油口に装着してある燃料コシ網を必ず使用してください。
- 燃料は規定レベル以上給油しないでください。

規定容量：EGR3500T, 4100T → 12.8L

EGR5000TD-E, 5500TD-E → 22.0L



(3) 燃料・オイルもれの点検

⚠ 注意：火災

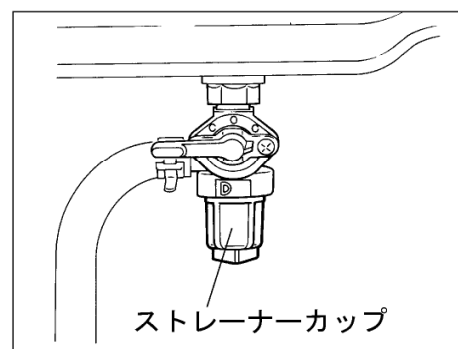
- 燃料もれがある場合は、絶対に使用せず修理してください。

燃料配管接続部などからの燃料もれと、エンジンからのオイルもれがないか点検してください。

燃料もれの点検は燃料コックを開いて行い、点検後は必ず燃料コックを閉じてください。

<注意>

- ストレーナーカップがゆるんでいたら、増し締めしてください。



(4) バッテリーの点検 (EGR5000TD-E、EGR5500TD-Eのみ)

⚠ 注意：目や皮膚の障害

- バッテリー液には希硫酸が含まれていますので、目・皮膚・衣服などに付着させないでください。
付着したときはすぐに多量の水で洗い流し、特に目に入ったときは必ず医師の診断を受けてください。

⚠ 注意：爆発

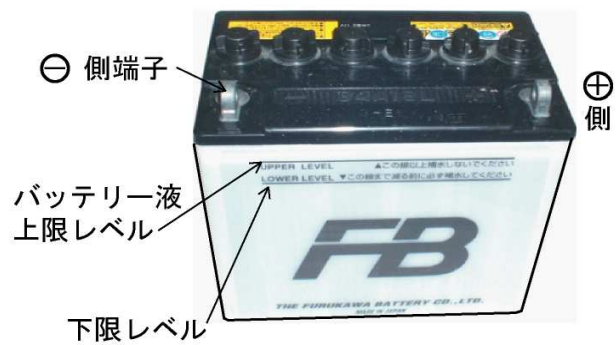
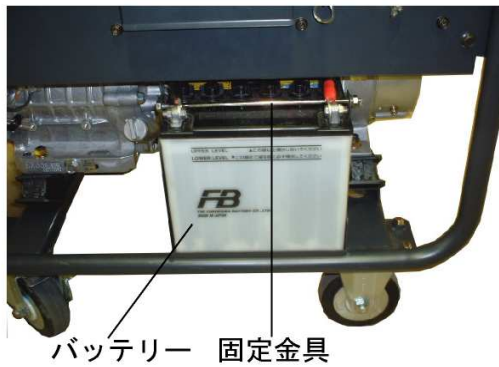
- バッテリーの液面高さが下限レベル以下では使用や充電をしないでください。
- バッテリーは引火性ガスを発生しますので、付近でスパークさせたり火気を近づけないでください。

↓1 液面高さを点検し、下限レベルに近いときは蒸留水を上限レベルまで補給します。

↓2 端子のゆるみを点検し、ゆるんでいるときは増し締めしてください。

<注意>

- セルモーターの回転音が、いつもより低くて弱くなったときは充電が必要です。お求めの販売店か弊社営業所に申しつけてください。



■ バッテリーの交換方法

- 1 『-』側ケーブルをはずします。(必ず『-』側を先にはずします。)
 - 2 『+』側ケーブルをはずします。
 - 3 バッテリー固定金具をはずします。(固定金具を端子に接触させないでください。)
 - 4 バッテリーを引き出します。(端子を本機に接触させないでください。)
- ※バッテリーの取付けは逆の手順で行います。(『+』側ケーブルを先に取り付けます。)

<注意>

- バッテリーは『34A19L』を使用してください。

7-2. 始動

⚠ 危険：排気ガス中毒

- エンジンの排気ガス中には、人体に有害な成分が含まれていますので、室内・トンネルなどの換気の悪い所では運転しないでください。

⚠ 注意：排気ガス中毒

- 排気を通行人や民家などに向けないでください。

⚠ 注意：火災

- マフラーや排気ガスなどは高温となるため、引火性のある物(燃料・ガス・塗料など)や燃えやすい物は、本機に近づけないでください。
- 本機は壁などの障害物から1m以上離し、水平な場所に設置してください。

 注意：けが

- 本機が移動しないよう、水平で安定した場所に設置し、キャスターをロックしてください。
- 始動前に、必ず使用機器のスイッチを切り、ブレーカーを『OFF』にしてください。

(1) リコイルスターターによる始動

- ↓1 ブレーカーを『OFF』にします。
- ↓2 燃料コックを『開』にします。
- ↓3 エンジンスイッチを『運転』または『ON』にします。

- ↓4 チョークレバーを『全閉』にします。

<注意>

- エンジンの暖機状態や外気温度に合わせて、チョーク操作を加減してください。

- ↓5 リコイルノブを重くなるどころ（圧縮点）までゆっくり引き、一度元にもどして一気に引きます。

<注意>

- リコイルノブは、いっぱい引ききらないでください。また、引いた位置から手放さずに、ゆっくりと戻してください。

- ↓6 エンジン始動後、チョークレバーを『全開』にします。

<注意>

- 始動後、すぐにチョークレバーを『全開』にするとエンストすることがありますので、エンジンの調子にあわせて徐々に操作し、最後には必ず『全開』にしてください。

- ↓7 約5分間、暖機運転をします。

(2) セルスターターによる始動 (EGR5000TD-E, EGR5500TD-Eのみ)

↓1 ブレーカーを『OFF』にします。

↓2 燃料コックを『開』にします。

↓3 チョークレバーを『全閉』にします。

<注意>

- エンジンの暖機状態や外気温度に合わせて、チョーク操作を加減してください。

↓4 エンジンスイッチを『始動』にすると、セルモータが起動してエンジンが始動します。

<注意>

- セルモータは、5秒以上連続してまわさないでください。
- エンジンスイッチの操作を繰り返すときは、30秒以上操作間隔をあけてください。

↓5 エンジンが始動したら、エンジンスイッチから手を離してください。

<注意>

- エンジン始動後は、絶対にエンジンスイッチを『始動』にしないでください。

↓6 チョークレバーを『全開』にします。

<注意>

- 始動後、すぐにチョークレバーを『全開』にするとエンストすることがありますので、エンジンの調子にあわせて徐々に操作し、最後には必ず『全開』にしてください。

↓7 約5分間、暖機運転をします。

7-3. 停止

1. ブレーカーを『OFF』にします。
2. 約3分間冷機運転をします。
3. エンジンスイッチを『停止』または『OFF』にします。
4. エンジン停止後、燃料コックを『閉』にします。

<注意>

- エンジンスイッチを『停止』または『OFF』にしてもエンジンが止まらないときは、そのまま燃料コックを閉じてください。数分後に停止します。その場合は、本機をそのまま使用せずに、お求めの販売店か弊社営業所に修理をお申し付けください。

8. 発電機の操作

⚠ 危険：感電

- 三相出力ターミナルへの使用機器の取り付け・取りはずしは、必ずブレーカーを『OFF』にして行ってください。
- 本機や体がぬれているときは、本機に触れないでください。

⚠ 注意：けが

- 使用機器のスイッチが『OFF』になっているのを確認してから、三相出力ターミナルや単相出力コンセントに電源コードを接続してください。

⚠ 注意：物的損害

- コンピューター・マイコン搭載機器・精密機器の電源として使用しないでください。使用機器が故障することがあります。

8-1. 操作

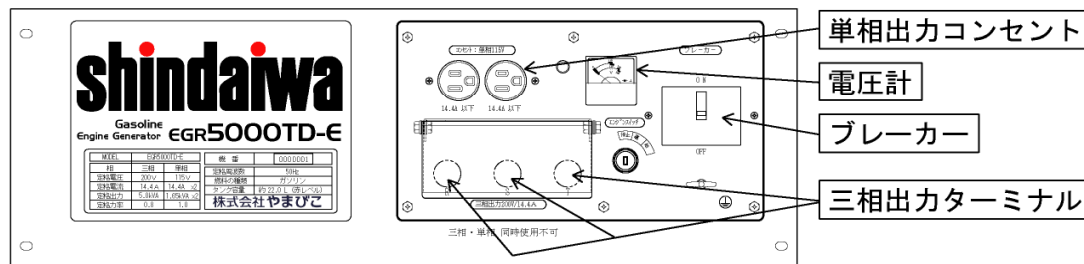
エンジン始動後、ブレーカーを『ON』にすれば、単相115V、三相200Vの交流電源が取り出せます。

<注意>

- 単相出力コンセントと三相出力ターミナルから取り出せる電流は下記の通りです。

	EGR3500T	EGR4100T	EGR5000TD-E	EGR5500TD-E
単相115V	10.1A × 2	11.8A × 2	14.4A × 2	15.0A × 2
三相200V	10.1A	11.8A	14.4A	15.9A

- 単相電源と三相電源は同時に使用しないでください。
- 運転中は、ブレーカーが『OFF』でも電圧計は三相電圧を表示します。



※イラストは、代表例としてEGR5000TD-E(セルスタータ)タイプを表示しています。

8-2. 使用できる機器の容量 (目安)

電動工具などは、その種類・性能によって使用できる容量が異なりますので、次の表 (目安) を参照してください。

使用機器		容量の目安(W:ワット)			
		ERG3500T	ERG4100T	ERG5000TD-E	ERG5500TD-E
単相	白熱電球、電熱器など	2000W	2360W	2880W	3000W
	蛍光灯、電動工具など	1000W	1180W	1440W	1500W
	水中ポンプ (W×台数)	480W×3	480W×4	480W×5	480W×5
	コンプレッサー (W×台数)	400W×2	400W×2	400W×3	400W×3
三相	水中ポンプ (W×台数)	合計で	合計で	合計で	合計で
	コンプレッサー (W×台数)	1400W	1600W	2000W	2200W

※容量の数値は、水中ポンプ・コンプレッサーは『出力』、他の機器は『消費電力』で表示しています。

※水中ポンプは、『コンデンサー運転モータ』方式の場合です。

<注意>

- モーターを使用した機器は、機器の定格より大きい電力を必要とすることがありますので、お求めの販売店が弊社営業所にご相談ください。
- 水中ポンプ・コンプレッサーなどの機器を2台以上使用するときは、機器を同時に起動させないで、1台ずつ起動させてください。

9. 点検・整備

⚠ 危険：感電

- 必ずエンジンを停止してください。

⚠ 注意：けが

- 必ずエンジンを停止してください。

⚠ 注意：火災・やけど

- 絶対に火気を近づけないでください。
- エンジンの停止直後は、エンジンやマフラーが高温になっていますので、エンジンが冷えてから行ってください。

本機を常に良好な状態で使用できるよう、次の表にしたがって定期的に点検・整備を行ってください。

<注意>

- 表中の●印はお求めの販売店か弊社営業所に申し付けてください。

項目	始業前点検 (毎日)	50時間 ごと	100時間 ごと	200時間 ごと	500時間 ごと	1000時間 ごと
1 各部の清掃・締付点検	○					
2 エンジンオイルの点検・給油	○					
3 エンジンオイルの交換	初回20時間目		○			
4 燃料ストレーナーの清掃				○		
5 燃料・オイル漏れの点検	○					
6 エアクリーナーの清掃		○				
7 スパークプラグの清掃			○			
8 スパークプラグの調整				○		
9 吸排気弁の点検・すり合わせ					●	
10 燃焼室内の清掃					●	
11 オーバーホール						●
12 カーボンブラシの点検					●	

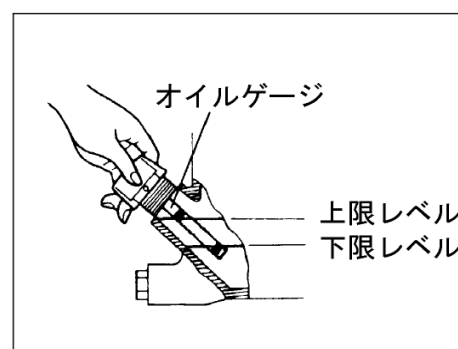
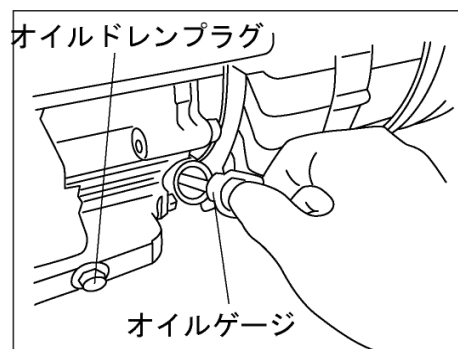
<注意>

- 燃料パイプや防振ゴムは1年ごとに交換してください。
- 交換部品は、必ず純正品を使用してください。

(1) エンジンオイルの交換

初 回	20時間目
2回目以降	100時間ごと

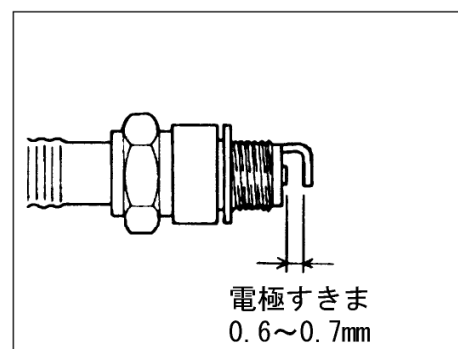
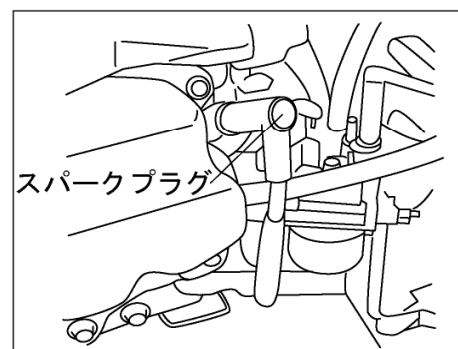
- ↓1 オイルゲージをはずします。
- ↓2 オイルドレンプラグをはずして、エンジンオイルを抜きます。
- ↓3 オイルドレンプラグを締め付けます。
- ↓4 エンジンオイルを上限レベルまで入れます。
(EGR3500T, 4100T →約1.0L入ります)
(EGR5000TD-E, 5500TD-E→約1.2L入ります)
- ↓5 オイルゲージを締め付けます。



(2) スパークプラグの清掃と調整

清掃	100時間ごと
調整	200時間ごと

- ↓1 プラグキャップを取り、プラグレンチでスパークプラグをはずします。
- ↓2 スパークプラグが汚れているときは、プラグクリーナーかワイヤーブラシで汚れを落とします。
- ↓3 電極すきまを0.6~0.7mmに調整します。



<注意>

- プラグは『NGK BR6HS』→ EGR3500T, 4100T, 5000TD-E, 5500TD-E を使用してください。

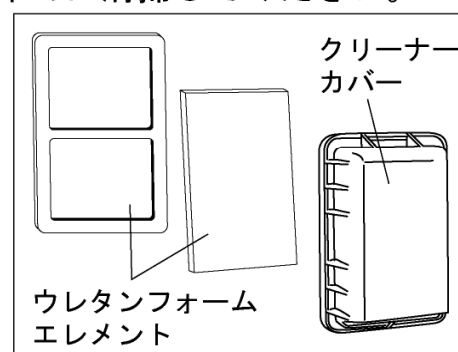
(3) エアクリーナーの清掃

清掃	50時間ごと
----	--------

<注意>

- 汚れがひどくなると、出力低下や始動不良などを起こす原因となりますので、ホコリの多い場所で使用したときは早めに清掃してください。

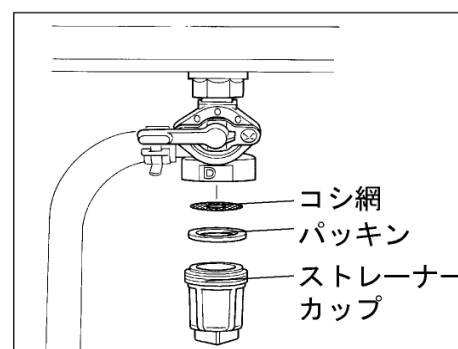
- 1 クリーナーカバーをはずします。
- 2 ウレタンフォームエレメントを取り出し、洗油（白灯油）で洗浄後、白灯油3：エンジンオイル1の割合の混合油に浸し、固く絞って取り付けます。



(4) 燃料ストレーナーの清掃

清掃	200時間ごと
----	---------

- 1 燃料コックを『閉』にし、ストレーナーカップを左に回してストレーナーカップをはずします。
- 2 ストレーナーカップ内の水やゴミを捨て、コシ網に付着しているゴミを取り除きます。
- 3 ストレーナーカップを燃料もれのないようにしっかり取り付けます。



<注意>

- ストレーナーカップを取り付けるとき、パッキン部にゴミが付着していないことを確認してください。
- 取り付け後は、燃料コックを『開』にして燃料もれがないことを確認し、確認後は『閉』にしてください。

10. 長期保管

⚠ 危険：感電

- 整備を行うときは、必ずエンジンを停止してください。

! 注意：けが

- 整備を行うときは、必ずエンジンを停止してください。

! 注意：火災・やけど

- 火気を近づけないでください。
- エンジンの停止直後は、エンジンやマフラーが高温になっていますので、エンジンが冷えてから整備を行ってください。

本機を1ヶ月以上使用しないときは、次の手順にしたがって整備を行ってください。

- 1 ↓ 燃料コックを『閉』にしてストレーナーカップをはずします。
- 2 ↓ 燃料コックを『開』にして燃料タンク内の燃料を全部抜きます。
- 3 ↓ 燃料コックを『閉』にして、ストレーナーカップを取り付けます。

<注意>

- ストレーナーカップを取り付けるとき、パッキン部にゴミが付着していないことを確認してください。

- 4 ↓ 出力コンセントから機器の電源プラグを抜き、エンジンを始動させてエンジンが止まるまで運転します。（キャブレター内の燃料が空になります。）
- 5 ↓ エンジンスイッチを『停止』または『OFF』にします。
- 6 ↓ エンジンオイルを交換します。
- 7 ↓ スパークプラグをはずし、その穴からエンジンオイルを約5mL注入します。
- 8 ↓ リコイルノブをゆっくり数回引きます。
- 9 ↓ スパークプラグを取り付けます。
- 10 ↓ リコイルノブを重くなるまでゆっくり引き、元にもどします。
- 11 ↓ エアクリーナーを清掃します。
- 12 ↓ バッテリーを取り外します。（EGR5000TD-E, 5500TD-Eのみ）『バッテリーの交換方法（P11）』の項を参照してください。

<注意>

- 取り外したバッテリーは、換気のよい火気の無い、子供の手の届かない場所に保管してください。
- 取り外したバッテリーは、月1回程度補充電を行ってください。

↓ 各部を清掃し、湿気・ホコリの少ない場所にカバーなどをかけて保管します。

1 1 . 故障時の対応

⚠ 危険：感電

- 本機や体がぬれているときは、運転しないでください。
- 必ずエンジンを停止して行ってください。

⚠ 注意：けが

- 必ずエンジンを停止して行ってください。

⚠ 注意：火災・やけど

- 絶対に火気を近づけないでください。
- エンジンの停止直後は、エンジンやマフラーが高温になっていますので、エンジンが冷えてから行ってください。

本機の調子が悪いときは、次の表にしたがって点検してください。
点検しても正常にならないときは、お求めの販売店か弊社営業所に修理を申し付けてください。

症状	推定原因	処置
セルモータが起動しない (EGR5000TD-E, 5500TD-E)	1. バッテリーあがり 2. バッテリーの劣化 3. ヒューズ切れ	1. バッテリーを充電する 2. バッテリーを交換する 3. コントロールボックス内のヒューズを交換する (取扱説明書と同梱)
エンジンが始動しない	1. 燃料コック『閉』 2. 燃料の不足 3. 燃料に水やゴミが混入	1. 燃料コックを『開』にする 2. 燃料を給油する 3. 燃料タンク・燃料ストレーナーの水抜きと清掃
エンジンがすぐ停止する	1. オイルセンサー作動	1. オイルを給油する
使用機器が作動しない	1. ブレーカー『OFF』 2. 使用機器の電流が定格を超えている	1. ブレーカーを『ON』にする 2. 『使用できる機器の容量』を参考にする

■ヒューズ交換方法 (EGR5000TD-E, 5500TD-Eのみ)

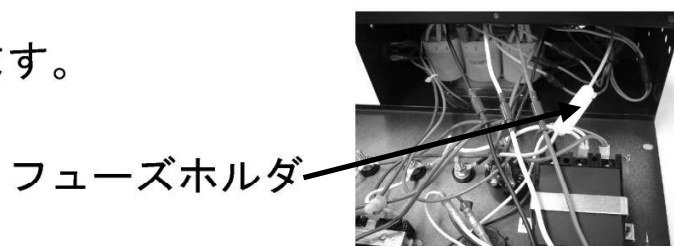
①パネル四隅のネジを4箇所外し、パネルAssyを分離します。



②ネジを6箇所外し、パネルとコントロールボックスを分離します。



③分離した内部に白色のヒューズホルダがあります。



④ホルダ本体を開いてヒューズを取り換えます。



⑤交換用ヒューズは取扱説明書と一緒に添付されています。(ガラス管10A:2本)



MEMO

株式会社やまびこ

〒 198-8760 東京都青梅市末広町 1-7-2 Tel 0428-32-6181

やまびこ産業機械株式会社

〒 731-3167 広島市安佐南区大塚西6-2-11 Tel 082-849-2005 (代)

やまびこ北海道株式会社

〒 004-0041 北海道札幌市厚別区大谷地東 1-2-20 Tel 011-891-2249 (代)

やまびこ東北株式会社

〒 984-0002 宮城県仙台市若林区卸町東 5-1-50 Tel 022-288-0511 (代)

やまびこ東部株式会社

〒 198-0025 東京都青梅市末広町 1-7-2 Tel 0428-32-1091 (代)

やまびこ中部株式会社

〒 452-0031 愛知県清須市西枇杷島町宮前 1-39 Tel 052-502-4111 (代)

やまびこ西部株式会社

〒 701-0221 岡山県岡山市南区藤田566-159 Tel 086-296-5911 (代)

やまびこ九州株式会社

〒 816-0943 福岡県大野城市白木原 5-3-7 Tel 092-573-5361 (代)

ご用命の際はお買い上げいただいた販売店へご連絡ください。